



春の叙勲

このほど、2017年春の叙勲受章者が発表され、仙北市からは元角館中学校校長の西宮陽助氏が教育功勞で瑞宝双光章を、元田沢湖町消防団副分団長の大山隆男氏と元西木村消防団分団長の小林伍市郎氏が消防功勞で瑞宝単光章を受章されました。

瑞宝双光章（教育功勞）



西宮陽助氏
(80歳 角館町歩行町)

元角館中学校校長

昭和34年から平成9年までの永きにわたり教職を務め、子どもたちの学力向上、教育発展に貢献されました。

瑞宝単光章（消防功勞）



大山隆男氏
(83歳 田沢湖梅沢)

元田沢湖町消防団副分団長

昭和32年田沢湖町消防団に入団。以来、42年の永きにわたり地域の防火・防災のリーダーとして尽力されました。



小林伍市郎氏
(78歳 西木町小山田)

元西木村消防団分団長

昭和32年西木村消防団に入団。平成7年から平成11年まで分団長として分団をまとめ、団員の育成強化に努めました。

里帰りへ一歩 よろしくクニマス

5月10日、北秋田市阿仁の県水産振興センター内水面試験池にクニマスを乗せたトラックが到着しました。前日の午後5時に山梨県忍野村の山梨県水産技術センター忍野支所を出発した10尾のクニマスは、1尾ずつ水と酸素を詰めたビニール袋に入れられ発泡スチロールの箱に保冷剤と一緒に詰められて運搬されました。試験池の研究員が施設内のクニマス専用水槽にスチロール箱を運び、水温をなじませた後に水槽内に放されたクニ

マスは、ゆっくりと泳ぎ出しました。田沢湖畔に建設中の「仙北市田沢湖クニマス未来館」では、水槽やエアレーション装置などの整備と試運転が終了し、現在は「水作り養生」に引き続き「アストフィッシュ飼育」の最中ですが、その後、最終的に飼育環境を確認し、6月中旬にはクニマスを同未来館に搬入する予定です。未来館のオープンは7月1日。入館料は大人300円、小人150円です。ぜひご来館ください。



生きているクニマスは報道陣注目の的。5月10日の朝、山梨県から北秋田市に届いたクニマス。未来館のオープンが待ち遠しいですね。

「角館祭りのやま行事」が無形文化遺産登録の認定を受ける

昨年12月に「角館祭りのやま行事」を含む33団体が構成される「山・鉾・屋台行事」がユネスコ（国連教育文化機関）無形文化遺産に登録されました。この登録を受けて、5月4日、富山県南砺市城端で開催された「平成29年度全国山・鉾・屋台保存連合会総会」で、宮田亮平文化庁長官から、各団体に登録認定書が伝達され

ました。仙北市から門脇市長、今野則夫角館のお祭り保存会長をはじめ関係者6人が総会に出席し、代表の今野会長に登録認定書が授与されました。登録認定書の写しは、角館榊細工伝承館、角館駅前蔵、花葉館に掲示します。お立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。



宮田亮平文化庁長官（左）から今野則夫角館のお祭り保存会長（右）にユネスコ無形文化遺産の登録書（レプリカ）が授与されました。



参加した仙北市関係者の皆さん。門脇市長は文化庁からの認定書を、今野則夫角館のお祭り保存会長は授与された登録書を提示。

西木温泉クリオンプール わくわく浮き浮き教室

5月11日、西木温泉クリオンの温泉プールで65歳以上を対象とした水中運動教室「わくわく教室」が開催され、16人が参加しました。参加者は講師の指導のもと、腕・肩などを動かしてウォーミングアップした後、上半身を動かしながらプール内を歩行。慣れてきたところで、2人1組となり、お互いをおんぶしてゆっくりと歩きました。参加者は水に慣れてくると笑い声も出て、終始和やかな雰囲気です。メニユーをこなしていました。



皆さんも8月から始まる第2クールにぜひ参加してください。

暴力団排除・特殊詐欺被害防止活動



雨模様の中、参加者は観光客に特殊詐欺被害防止などを呼びかけました。

4月29日、仙北地区暴力追放推進委員会、仙北市防犯協会、仙北市少年保護育成委員会、仙北市防犯指導隊などによる「暴力団排除・特殊詐欺被害防止活動」が角館町の桜まつり会場で行われました。当日は、各団体から合わせて約20人が参加。仙北市観光大使である演歌歌手・小桜舞子さんやなまはげと一緒に、桜まつりに訪れた観光客に、暴力団排除や特殊詐欺被害防止の啓発グッズ、チラシなどを配りながら、防犯意識の向上に努めました。参加者は、観光客一人ひとりに丁寧に声かけ運動を実施し、暴力団排除の「3ない運動（プラス1）」や振り込め詐欺、還付金詐欺被害防止に対する注意を呼びかけていました。

生涯学習奨励員に委嘱状が交付されました

生涯学習奨励員とは、地域住民の身近なところで学習活動を奨励・援助し、生涯学習を活発にするために設置しているものです。

奨励員の皆さんは、各々が得意分野で公民館活動やサークル活動を通じて活躍しています。

「こんな事をしてみたい」「体験してみたい」などありましたら、お近くの奨励員にご相談ください。

生涯学習奨励員は次の方々です。
(敬称略 新⇨新任、再⇨再任)



5月11日、生涯学習奨励員に委嘱状が交付されました。

【生涯学習奨励員】

会長	千田ミワ	(田沢湖)	再
副会長	赤川和子	(角館)	再
副会長	新山正雄	(西木)	再
委員	坂本邦子	(田沢湖)	再
委員	高橋幸雄	(田沢湖)	再
委員	千葉薫	(田沢湖)	新
委員	佐藤智恵子	(田沢湖)	再
委員	酒井泉	(角館)	再
委員	館花久子	(角館)	新
委員	黒澤美鈴	(角館)	新
委員	雲雀秀人	(角館)	再
委員	阿部栄子	(西木)	再
委員	門脇トキヨ	(西木)	再
委員	村上新子	(西木)	新
委員	伊藤キヨ子	(西木)	新

任期は平成29年4月1日から平成31年3月31日までとなっています。

まちづくり日記

No.117

『人口減少時代のまちづくり』 〜現実対応と夢の追求〜

仙北市長 門脇 光浩

秋田県の人口が、この4月で100万人を切りました。東北6県の中で最も少なく減少スピードは最速です。平成19年との比較では12万人以上減少しています。仙北市もこの間で約4千人が減少しています。これまで増加の高齢者人口も、今後5年程度で減少に転じます。このような人口減少はさらに加速します。

日本は10年ほど前から人口減少国に転じています。しかし社会(国民)は、人口が拡大し経済成長を続けた時代の意識のままです。もちろん市役所など公共機関は、住民の要望に何とか応えたいと行政施策を展開しています。しかし事業を進める人材の確保や財源調達に難儀していることも事実です。現在の仙北市にとって重要な行政課題は、「縮小する地域社会であっても、市民の暮らしが成り立つ、ここで生き続けることのできる仕組みづくりを進める」ことです。昨年度に成立した「仙北市総合戦略」はこの方向付けを基本に作成されています。産業振興による仕事づくり、移住定住対策、少子化対策、新たな地域社会の形成の項目で、具体的な手法が明記されました。人

口減少社会への対応は、しっかりと数値に基づいた超現実的なものです。もう一方で、目指す将来像として夢の事業も盛り込みました。クニマスの養殖や臼岩焼の国際化、演劇大学の可能性調査などがあります。これらは未来への種まきです。現実対応を行いつつ夢を追求することは本当に難しい作業です。でも夢がなければ成長もありません。そして夢は失敗の積み重ねの向こう側でしか叶いません。

ところで、先日ある新聞社が県内25市町村に対しアンケート調査を実施しました。その中に「人口減少が続けば自治体は単独では立ちゆかなくなり、消滅しかねない」という危機感を持っているかの問いがありました。私は自由記述で次のように書きました。「単独では立ちゆかなくなるから自治体が消滅する…、この考え方は余りに直線的ではないか。自治体運営がさらに厳しくなることは間違いなく、行政改革、市民協働でのコスト削減、新産業の創出など、自治体の存続に向けた努力を放棄してはいけません。皆さんはどう思われるでしょうか。」

各地の特産品が大人気

角館の桜まつり期間中、仙北市との姉妹都市・連携交流都市(長崎県大村市、茨城県常陸太田市、秋田市)の物産展が4月29日、30日と市役所角館庁舎前の特設テントで開催されました。

大村市名物のちゃんぽん、皿うどん、カステラや常陸太田市名物の地酒や菓子類、秋田市からは鱈甘露煮など、地元でしか手に入らない品々が並び、お客さんで賑わいをみせました。



お目当ての特産品を買い求めるお客さんたち。

角中生が頼もしい桜案内人

桜の素晴らしいさを伝える

角館の桜まつり期間中の5月1日、角館中学校3年生の生徒が「総合的な学習の時間」で、桜の案内人を務めました。これは、観光客に桜の魅力などを知ってもらおうと、学習で身につけた知識を活かし、観光ガイドを行ったものです。生徒たちは班ごとに分かれ、外国人の観光客に積極的に英語で話しかけたり、アンケートをとったりするなど、しっかりと案内をしていました。



生徒たちは桜の歴史や種類、維持管理の仕方などについて、観光客に詳しく説明しました。

爽やかな湖畔の風を感じて走ろう! 第32回田沢湖マラソン

TAZAWAKOMARATHON

エントリー受付中!

エントリーの締切は
7月21日(金)

2017年9月17日[日]

今年の田沢湖マラソンは、9月17日(日)に開催されます。市民の皆さんも健康づくりや自身へのチャレンジとして、ぜひご参加ください。当日はコース周辺で交通規制が行われますので、ご協力をお願いします。詳しくは、仙北市ホームページのイベント欄をご覧ください。



ゲストランナー
土佐礼子さん

エントリーについての問合せ
田沢湖マラソンエントリーセンター
(南ラップシステム内) ☎0463-35-6691

その他問合せ
田沢湖マラソン実行委員会事務局
(教育委員会スポーツ振興課内) ☎43-1116
E-mail marason@city.semboku.akita.jp